

## 第1回総合教育会議

日 時 平成27年7月3日(金) 午後1時00分～午後2時16分

場 所 第一会議室

出席者 16人

### 総合教育会議構成員

市長	稲葉孝彦
教育委員長	鮎川志津子
教育委員長職務代理者	福元弘和
教育委員	渡邊恭秀
教育委員	岡村理栄子
教育長	山本修司

### 関係部局

学校教育部長	川合修
生涯学習部長	西田剛
庶務課長	河田京子
学務課長	鈴木剛
指導室長	小林正隆
生涯学習課長	石原弘一
公民館長	前島賢
図書館長	上石弘美
指導室長補佐	高橋良友
庶務係長	中島良浩

---

### 事務局

企画財政部長	河野律子
企画政策課長	水落俊也
企画政策課長補佐	中田陽介
企画政策課主任	津田理恵
企画政策課主事	高野修平

---

傍聴者 5人

(午後1時00分開会)

◎稲葉市長 定刻になりましたので始めさせていただきます。

皆さん、こんにちは。ただいまから平成27年度第1回小金井市総合教育会議を開催いたし

ます。

会議に入る前に、本日の会議の公開についてお諮りをさせていただきます。総合教育会議につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定に基づき、原則公開となっております。また、お手元に配布しております小金井市総合教育会議運営要綱（案）をご覧になっていただければと思いますが、本要綱では、正式には本日の会議の中でご協議をいただくものでございますが、第4条に会議の公開に係る規定を設けたいと考えております。

以上の理由から、本会議においては傍聴を許可したいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

◎稲葉市長 ご異議がございませんので、傍聴の方に入室いただくまで休憩をさせていただきます。

（ 休 憩 ）

◎稲葉市長 それでは再開させていただきます。

改めまして、平成27年度第1回小金井市総合教育会議を開催いたします。私は市長の稲葉孝彦でございます。よろしくお願いたします。進行につきましては、会議の主宰者であります私が務めさせていただきます。

それでは、会議の開催に当たりまして、私のほうから一言ご挨拶をさせていただきます。

本日は第1回小金井市総合教育会議に、大変お忙しい中をご出席いただきましてありがとうございます。また、平素より小金井市の教育行政に多大なるご尽力をいただき、本当にありがとうございます。

私は小金井市の教育が他市に誇れるすばらしいものであると認識しております。これは家庭教育がしっかりしていること、地域の青少年健全育成等の取組が充実していること、またスポーツ活動など生涯学習が活発であること、そして教育委員会の指導のもと、各学校において先生方が一生懸命に指導していただいていることからこそのものであります。

小金井の、そして日本の将来を担う子どもたちの教育はこの上なく重要でありますし、超高齢社会、人口減少社会を迎え、生涯学習もますます重要になっております。小金井市の教育には大いに期待をしておりますことを、改めて皆様にお伝えしたいと思います。

総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、今年度から設置するものでございます。

市政全体の話に変わりますが、小金井市では歳入の根幹を成す個人市民税をはじめとする市税収入が、今後においても大幅な増加を見込むことが難しく、財源の確保が大きな課題となっております。一方、歳出面は、社会保障関連経費等の自然増、最重要課題であるごみ処理に関する経費や待機児童の解消等、多額の財源を必要とする重要課題が山積し、今後も厳しい財政運営が想定される状況にあります。

そのような中、教育の中立性、継続性・安定性を確保しつつ、先駆的教育行政の更なる推進

のために必要な取組については、長期的な視点での財政負担も考慮しながら、着実な歩みを進めていかなければならないと考えております。

そのために、教育委員会の皆様のご協力が必要不可欠でございます。本日は有意義な会議としたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

これから先は着座で進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、鮎川教育委員長からご挨拶をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

◎**鮎川教育委員長** 教育委員会委員長の鮎川志津子でございます。教育委員会制度改革により、本日は総合教育会議を開催していただきまして誠にありがとうございます。本日はよろしくお願いいたします。

◎**稲葉市長** ありがとうございます。

続きまして教育委員の皆様からも、自己紹介を兼ねて一言ずつご挨拶をいただければと思いますので、よろしくお願い致します。

福元教育委員長職務代理者からお願いいたします。

◎**福元教育委員長職務代理者** 福元でございます。第1回で多少緊張しているところはありませんが、自分の考えていることを申し上げて、多少なりとも小金井の教育に役立てばと思っております。よろしくお願い致します。

◎**稲葉市長** よろしく申し上げます。ありがとうございました。

それでは次に渡邊委員、お願いいたします。

◎**渡邊教育委員** 教育委員の渡邊と申します。どうぞよろしくお願い致します。私は、微力ではございますが、少なからず努力をして、小金井市の教育のために邁進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

◎**稲葉市長** よろしく申し上げます。ありがとうございます。

それでは岡村委員、よろしくお願い致します。

◎**岡村教育委員** 1年ちょっとになりましたが、まだ勉強することばかりで、皆さんに助けられて小金井の教育に少しでもご協力できたらと考えています。よろしくお願い致します。

◎**稲葉市長** ありがとうございます。よろしくお願い致します。

次に山本教育長、よろしくお願い致します。

◎**山本教育長** 教育長の山本です。今日は皆さんの貴重なご意見をたくさんいただければありがたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

◎**稲葉市長** ありがとうございます。よろしくお願い致します。

以上、私を含めまして6名が総合教育会議の構成員となります。

続きまして、本日の会議には事務局として職員も出席させていただいております。事務局、紹介をお願いいたします。

◎**水落企画政策課長** では、本会議の事務局を務めます職員について紹介をさせていただきます

す。

まず最初に企画財政部長の河野です。

◎河野企画財政部長 河野でございます。よろしくお願いいたします。

◎水落企画政策課長 企画政策課長補佐の中田でございます。

◎中田企画政策課長補佐 中田です。よろしくお願いいたします。

◎水落企画政策課長 主任の津田でございます。

◎津田企画政策課主任 津田です。よろしくお願いいたします。

◎水落企画政策課長 主事の高野でございます。

◎高野企画政策課主事 高野です。よろしくお願いいたします。

◎水落企画政策課長 最後に、申しおくれましたが私は企画政策課長の水落でございます。よろしくお願いいたします。

以上のメンバーで事務局を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、今回、教育全般にわたる審議となりますことから、教育委員会の職員も出席させていただきます。

それでは順に自己紹介をお願いいたします。

◎川合学校教育部長 学校教育部長の川合です。どうぞよろしくお願いいたします。

◎河田庶務課長 庶務課長の河田と申します。よろしくお願いいたします。

◎鈴木学務課長 学務課長の鈴木です。よろしくお願いいたします。

◎小林指導室長 指導室長の小林でございます。よろしくお願いいたします。

◎高橋指導室長補佐 指導室長補佐の高橋でございます。よろしくお願いいたします。

◎西田生涯学習部長 生涯学習部長の西田です。よろしくお願いいたします。

◎石原生涯学習課長 生涯学習課長の石原です。よろしくお願いいたします。

◎上石図書館長 図書館長の上石です。よろしくお願いいたします。

◎前島公民館長 公民館長の前島でございます。よろしくお願いいたします。

◎稲葉市長 ありがとうございます。

本日は第1回の審議会ということもございまして、議題の審議に入る前に事務局から確認事項がありますので、説明をさせていただきます。

◎事務局 では、事務局より会議録の作成及び会議録の公開について説明をさせていただきます。

まず、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第1条の4第6項の規定により、総合教育会議は原則公開となっております。本日の会議の開催に当たりましては、市報やホームページ等で開催日等をお知らせし、傍聴の呼びかけを行ってございます。

また、会議録につきましても原則公開となるため、市役所の情報公開コーナー、議会図書室・図書館に据え置くとともに、ホームページ上で公開をいたします。会議録の作成に当たりましては、小金井市市民参加条例施行規則第5条の規定により、あらかじめ関係附属機関等に諮っ

た上、規定されている会議録の作成方法の中から会議内容等に応じて適切な方法を選択したいと考えております。

作成方法としましては、発言者の氏名及び発言内容の全てを記録する全文記録、発言者の発言内容ごとの要点記録、会議内容のみの要点記録の3つの方法が規定されております。したがって、この中から決めさせていただきたいと考えております。

◎稲葉市長 事務局から説明がありましたように、会議録の作成につきましては3つの方法を示させていただいております。1つは発言者の氏名及び発言内容の全てを記録する、全文を記録する。2番目は発言者の発言内容ごとに要点だけを記録する。3番目に会議内容の要点記録と必要となるところだけを記録するという3つの方法を提案しておりますが、市の審議会や教育委員会ではほとんど全文を記録する形をとっておりますので、ご異議がなければ全文記録を採用したいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎稲葉市長 特に異議がないようでございますので、それでは会議録につきましては全文記録とさせていただきます。

続きまして、事務局、よろしく申し上げます。

◎事務局 続きまして、意見・提案シートの取扱いについて説明をさせていただきます。資料1、意見・提案シートをご覧ください。

傍聴環境の整備としまして、傍聴者の意見を積極的に反映できるようにするため、市民参加推進会議から、原則として全ての審議会に意見・提案シートを設置することについてご提言をいただいております。

傍聴にいらっしゃった方に資料と一緒に配付をし、意見がある方から事務局に提出してもらうというものでございます。意見・提案シートの取扱いは、それぞれの機関のご判断、ご審議を踏まえて決定をさせていただいておりますが、市民参加推進会議での取扱いは、次回の会議開催の10日前に届いたものにつきましては事前配付資料として委員へ送り、それ以降に届いたものは当日配付資料とすることとなっております。また、氏名も含めて原文のまま会議録とあわせて配付資料として公開し、無記名だった場合は参考資料として委員へ配付することともししております。いずれにしましても、基本的な位置づけとしましては、審議の内容によって提出された意見を考慮するという形で取り扱っております。

特段のご意見がなければ、総合教育会議での取扱いにつきましても同様の取扱いとしたいと考えております。よろしくお願いたします。

◎稲葉市長 ただいま事務局から説明がありました。ご異論がなければ、市民参加推進会議と同様の取扱いをさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎稲葉市長 特に異議がないようでございますので、そのようにさせていただきます。

それでは議事を進めさせていただきます。総合教育会議につきましては事務局より改めて概

要説明をお願いいたします。

◎事務局 ではご説明させていただきます。資料2、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（概要）をご覧ください。

表の右側中段に記載がございますように、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図るために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されることとなりまして、あわせて総合教育会議が設置されるものでございます。

裏面をご覧ください。右側のPOINT③総合教育会議、こちらとあわせまして資料3、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）、こちらの資料もあわせてご覧いただければと思います。

会議の設置・構成員につきましては、法律の第1条の4で、地方公共団体の長は総合教育会議を設けるものとする。総合教育会議は地方公共団体の長及び教育委員会により構成する。総合教育会議は、地方公共団体の長が招集する。また、教育委員会は、協議する必要があると思料するときは総合教育会議の招集を求めることができるとされてございます。

また、会議における協議調整事項については、大綱の策定に関する協議、教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議、児童・生徒等の生命または身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置についての協議、並びにこれらに関する構成員の事務の調整を行うこととされてございます。この場合の調整とは、緊急の場合における構成員、つまり市長と教育委員会のそれぞれの所管する業務を行う上での必要な調整を指すものでございます。

また、調整の結果の尊重義務につきましては、総合教育会議において、その構成員の事務の調整が行われた事項については、当該構成員はその調整の結果を尊重しなければならないこととされてございます。

また、会議の公開と議事録の作成及び公表につきましては、総合教育会議は個人の秘密を保持するため必要があると認めるとき、または会議の公正が害されるおそれがあると認めるとき、その他公益上必要があると認めるときを除き公開すること。地方公共団体の長は、総合教育会議の終了後、遅滞なく総合教育会議の定めるところによりその議事録を作成し、これを公表するよう努めなければならないこととされてございます。

また、その他としましては、総合教育会議は協議を行うに当たって必要があると認めるときは関係者又は学識経験を有する者から当該協議すべき事項に関して意見を聴くことができること。総合教育会議の運営に関し必要な事項は総合教育会議が定めることとされております。

以上、簡単ではございますが、総合教育会議の概要の説明とさせていただきます。

◎稲葉市長 ありがとうございます。

ただいま説明がありましたように、法の趣旨にのっとり、教育委員会と十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層市民の意思を反映した教育行政の推進を図るため、総合教育会議を設置するものでございます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ただいまの説明につきまして、何かご意見等がありましたらお伺いしたいと思います。

(「なし」の声あり)

◎**稲葉市長** 特にないようでございますので、それでは議事を進めさせていただきます。

議題第1号、総合教育会議の運営についてを議題とします。会議が円滑に運営されるよう、運営に関しまして必要な事項を定めるものでございます。詳細は事務局より説明をさせていただきます。

◎**事務局** ではご説明を申し上げます。資料4、小金井市総合教育会議運営要綱(案)に沿って説明をさせていただきます。資料をご覧ください。

第1条では、この要綱の趣旨を規定してございます。

第2条では、会議の構成について規定しております。

第3条では、会議の招集について規定をしてございます。

第5条では、事務局について規定をしてございます。

各規定内容につきましては、改正法の説明と重複しておりますが、会議運営について定めた要綱案となっております。詳細は資料をご覧ください。

説明は以上です。よろしくお願いいたします。

◎**稲葉市長** 説明は終了いたしました。

法では「総合教育会議の運営に関しまして必要な事項は総合教育会議が定める」とございます。したがって、本要綱案を皆さんにお諮りし、ご協議の上で決定をしていきたいと考えております。

それでは、今説明のありました要綱案について、ご意見等がございましたらお伺いしたいと思います。

特に要綱案に関しましてはございませんか。

それでは、本要綱案を総合教育会議の運営に関する要綱として位置づけることに関して、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎**稲葉市長** それではそのように決定をさせていただきます。

続きまして議題第2号、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱についてを議題といたします。

先ほどから事務局の説明にもありましたように、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、地方公共団体の長が定めるとされる「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」です。この策定に当たりましては、改正法の同条第2項の規定

にあるとおり、総合教育会議で協議するものとなっておりますので、議題とさせていただきます。

策定に当たりましては、本日の会議で教育委員会の皆さんのご意見を頂戴したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、皆さんのお考えをお聞きする前に、私から考え方を述べさせていただきます。

今回の法律の改正で市長が定めることとされました教育大綱でございますが、私は市議会等で発言してまいりましたが、これまでの教育委員会の取組を最大限尊重する考えでございます。

教育委員会が既に定めている教育目標、基本方針、そして明日の小金井教育プランや第2次生涯学習推進計画に基づき進められている各教育施策を継続して充実させていくことが必要ですし、小金井市の教育をより一層充実させていただけるよう、市長としてできる限りのサポートをしていくつもりでございます。

繰り返しになりますが、教育大綱の策定に当たりましては、教育委員会の取組を尊重したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、皆さんから大綱につきましてご意見をいただければと存じますので、ご発言をお願ひできればと思います。よろしくお願ひいたします。私の発言にはあまり拘束されずにご発言ください。

ではまず委員長の前川さんからお願いできますか。

**◎前川教育委員長** ただいま市長より、これまでの教育委員会の取組を最大限に尊重するとの考えを伺い、大変ありがたく存じます。これまでも、稲葉市長は教育委員会の取組を尊重してくださっており、多くのお力とご配慮をいただいております。誠にありがとうございます。また、市長部局の皆様にも、教育行政に多大なご尽力をいただいております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

私の意見を申し上げます。教育委員会の教育目標は、平成20年に決定され、その後折に触れ教育委員全員ですばらしい教育目標であり、これを守っていこうと確認し合ってまいりました。今の教育委員の皆様も同じ思いであると思っております。

また、教育委員会の基本方針は、小金井市の教育の原点であると考えております。

市の最上位計画であります第4次小金井市基本構想・前期基本計画の策定の際は、私も一委員としてかかわらせていただきました。小金井市教育委員会の明日の小金井教育プランと第2次小金井市生涯学習推進計画は、その基本計画に基づいたものであり、すばらしい教育のもととなっております。

前委員長の伊藤恒子先生は、常々、教育はぶれないことが大切だとおっしゃっていました。ですので、教育の安定性、継続性のためにも、教育委員会といたしましては、ぜひとも教育委員会の基本目標、基本方針、明日の小金井教育プランと第2次生涯学習推進計画を踏まえた大綱をお作りいただきたく、お願ひ申し上げます。よろしくお願ひいたします。

**◎稲葉市長** ありがとうございます。



他の委員の方々にもご意見があったらお尋ねしたいと思います。福元委員長職務代理者、いかがでしょうか。

◎福元教育委員長職務代理者 先ほど、市長のお話を伺っていて、大綱づくりについて、教育委員会の取組を最大限尊重するとか、それから教育の中立性、継続性・安定性、ここが一番話題になる部分ですが、それを確保しながら、最大限尊重するというような意味のお話をいただきました。大変ありがたいことだと思っております。よろしくお願ひしたいと思ひます。

また、ふだん、よく市長のお話の中に、他市に誇れるすばらしいものと小金井の教育を評価し、教育関係者をねぎらってくださることが多いというのも、これも教育関係者にとってはすごく心強く感じられ、大きな励みになると思っております。

そこで今、意見をということですが、小金井の教育の中にも幾つかの課題があります。その中で私が最も気になっていることは、教員の職場環境を改善できないかということでございます。教員が本来の職務である学級の児童・生徒との触れ合いの時間とか、明日の授業のための教材研究や授業研究の時間をどうすれば十分に確保できるかということですが、言い換えれば、膨大な内容の仕事をどう軽減して、児童・生徒に直接向き合える時間や授業の準備の時間を保障してあげるかということが大きな課題だと思っております。

学校は、外からは見えにくいさまざまな活動に取り組んでおります。皆さんよくご存じだとは思いますが、その一部を挙げてみますと、本来の研究・研修活動の他に、保護者の相談への対応、子どもの問題行動等への対応や指導、地域からの相談や苦情への対応、休日返上の部活動の指導。年間に何回も来る都や市からのアンケート依頼、調査依頼。それからさまざまな団体からの活動等への協力依頼。関係機関との連絡会や協議会、学校間の連絡会や協議会。給食費未納者への対応など、細かいものもいろいろあります。

学校の現状は、小金井市だけではなくて日本全国そうなのですが、小金井市も他の自治体に漏れず、やはり時間が十分にとれない中で、年間指導計画に沿った諸活動の指導や、児童・生徒対応や教材研究、授業案作成などに取り組んでいるわけです。どうしても時間が足りないという中でやっております。校長、副校長の活動はそれに教員の指導や地域との連携などさまざまなものが入ってきまして、さらに多くの活動で多忙を極めております。

小金井市の学校を今年度も何回か教育委員で回っておりますが、よく活動してくれているな、と評価できるのではないかとと思っております。それだけに、何とか時間をとってあげたいと思っております。

なぜそのように思うのかということですが、子どもの教育にとって最も大事なことは、先生の確かな児童理解だと考えます。この確かな児童理解があって、初めて個々の子どもの日々の小さな変化に気づくことができますし、子どもも自分が抱えているものを、確かな理解をしてくれている先生には相談できるという、そういう状況にあると思ひます。

そのためにも、自分の学級の子供と触れ合う時間を十分に保障してあげることが不可欠だと考えております。教員の児童理解に基づいた指導力や授業力の向上がさらに必要です。一人

ひとりの子どもの顔を思い浮かべながら進める教材研究や授業研究、一般的なものではなく、自分のクラスの子どもの顔を思い浮かべられるような児童理解をできるような、そういうことが大事だし、そんな時間も保障してあげなければならないかなと思っております。

教員の確かな児童理解や指導力、授業力の向上というのは、小金井市教育委員会が目指すところの、子どもたちが確かな学力を身につけたり、人間性豊かに成長するということの達成に大きく反映されると思います。したがって、我々6人ではなくて、事務局も含めてみんなでこのことを共通理解しながら、応援できるところを応援し、軽減してあげられるところを軽減していく努力が必要なのではないかと思っております。

また、市長さんにはちょっと耳が痛いというか、無理な注文かもしれないが、確かな児童理解をするにはやはり研修会が必要ですし、授業力や指導力向上にも研修会で研究が必要でございます。そういうときに、今年度は、ない中で、工夫しながら小金井市の学校の全教員がそれに取り組んでおりますが、今後もし可能なときが来れば、そういう予算の面での応援もまたいただければなおありがたいかなと、そんなことも考えております。

みんなで共通理解しながら、何とか教員が子どもと向き合える、そういう状況を作っていくようにしたいと願っております。それが一番、私が考えている大きな課題でございます。

◎稲葉市長 ありがとうございます。福元先生は長い間の現場をご存じということで、切実な、今、先生方が置かれている環境をご説明されたかなと思っております。

日本の教育、今、全てが言えるようなお話かなと思ってます。私に対するご意見もありました。参考にさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

続きまして渡邊委員、よろしく願いいたします。

◎渡邊教育委員 私は生涯学習についてお話ししたいと思っております。生涯学習と言いましても、公の部分と民間の部分とがあると思っておりますが、公民館・図書館は公の部分です。

最初、第1次小金井市生涯学習推進計画のときに私は関係してまして、そのときは、いつでも、誰でも、どこでも、意欲がある人は参加できるということで、特に民間のほうですが、朝の会がまだなかったんです。他の市に行くと、立川市昭島市にはあったのですが、小金井市はなかったので、その後、倫理法人会ができて、今、東京都内でも上から数えて5本の指に入るぐらい出席者が多くなっているそうです。市長もその当時、関係されていたと思っております。

あと、お昼間ですとロータリークラブ、夜間ですとライオンズクラブ・青年会議所等がございますが、そういうことで、直接市には関係ないかもしれませんが、やはりそのような民間の力を市のほうもなるべく引き寄せていただいて、人材的には優秀な人がいっぱいいますので、有効活用といいますか、むしろ、市から何か、長年やっている方には、お金はあまりかからないと思っておりますが、表彰とか、市長から一言おほめの言葉をいただくとか、そういったシステムがあるとやりがいがあるのではないかと思っております。

そしてもう1つは、市の学校を回ってみますと、市の建物が老朽化しているようですが、私自身も第一小学校と第二中学校の卒業生で、当時木造の建物だったのですが、今は鉄筋になっ

ていますが、それから既に何十年もたっていて、ただ少子高齢化というか、総合的に市のこれから20年、30年、もっと先ですかね、総合的に判断するような部署というのが、いろいろな話を聞いてもあまり入ってきませんので、その辺の打開策というか、総合的に判断するような部署が明確なプランを出さないと、この10年ぐらいいいと思いますが、50年先とかは結構大変な時期が来ると思いますので、その辺の計画、予算とは別に計画を出していただくと、それに沿っていろいろな細かい事業がなされていくと思いますのでよろしいかと、個人的でございますが、そういった意見を持っています。よろしく願いいたします。

◎**稲葉市長** 公共施設に関しては議会等でもいろいろご指摘をいただいている内容でございます。教育委員会は学校を持っていますので、それは大きな課題だとも思います。参考にさせていただきます。

次に岡村委員、よろしく願いします。

◎**岡村教育委員** 私は先月と先々月に学校運営連絡会というのにオブザーバーとして出ました。参加した1つの小学校で、算数の能力別クラスにしたらすごく成果が上がっているという話を聞いたのですが、その連絡会の中で、お母さんの中から、「うちの子はできないとかあの子はできるとか、劣等感とか差別感が出るのではないですか」というご質問があり、それに対して連絡会の地域の方が、「それは算数が苦手な子もいるし、国語が得意な子もいるし、走るのが上手な子もいるし、人に優しい子もいるよ」というお話があって、そのとおりだと思いました。子どもたちで自分の個性というのがまだよくわかっていないので、私たち大人たちが、みんなそれでいいんだよとか、個性があっていいんだよとか、すばらしいという話をして、そういうふうにしていくというか、本当に自分のことを大好きで、自分のことを尊敬すれば、すごく人のことも尊敬したりすると思うんです。

この小金井市の教育委員会の教育目標、「自他の生命と人格を尊重し、礼儀正しく思いやりのある人」、これは非常によいことだと思っていますので、これをぜひぜひ、目標にして、これからも市長さんたちと一緒に、子どもたちのためにもこれを目標にしていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

◎**稲葉市長** ありがとうございます。

次に山本教育長、お願いいたします。

◎**山本教育長** 市長が定める大綱に対する要望ということで、今、4人の委員さんがご意見をおっしゃったのですが、私は4人が話されなかったことを一つお話ししたいと思います。

学校を訪問したり、それから学校だよりを毎月もらっていますが、それを読んでも非常によくわかるのですが、本市の学校はこの学校も地域の人材を大変活用している状況があります。授業ばかりではなくて、行事とかスポーツとかいろいろな面で子どもたちの指導に当たっている。これは、小金井市というのが地域の人材、また大学の学生ボランティアと人的資源が大変豊かであるということが小金井市の強みだと思っています。

教育委員会で策定している教育目標や教育方針の中にも「学校と地域の連携」という言葉が

うたわれていますが、今後とも教育委員会では小金井市の学校教育の充実のために、さらに地域が学校を支援していく、そういう活動を推進していきたいと思っていますので、ぜひ、市長が定める大綱には、そういう視点から地域人材がみんなで学校を支援するという、そういう言葉を力強く示していただければありがたいと思っていますところ。

以上です。

◎稲葉市長 ありがとうございます。

一通りご意見をお伺いさせていただきました。今回の教育制度の改正というのは、私は懐疑的であります。法律が改正されたので従わざるを得ないというところはありますが、私が一番懐疑的に思っているのは、首長の教育への介入というのは、私はあってはならないという考え方を持っております。そういう意味で、私自身は教育委員会の皆さんのご意見は尊重させていただきたいと思いき、今出された意見等に関しましては教育大綱の中でうたわせていただきたいと思いきしますので、よろしくお願いいたします。

他に何かご意見等、この際ございましたらお願いいたします。

よろしいですか。では先に進ませていただきます。

今後の進め方について、事務局から説明を申し上げたいと思いきしますので、よろしくお願いいたします。

◎事務局 今後、大綱の案に対しましてパブリックコメントを実施したいと思いきと考えてございします。実施時期は8月を予定しておりますので、パブリックコメント実施前に再度本会議にお諮りをしたいところでございします。

そのため、教育委員会の日程に合わせさせていただきますして、7月14日、火曜日の13時に第2回総合教育会議を開催させていただきますと思いきと考えております。

なお、開催の周知につきましては、本日、日程が確定しますことから市報には掲載できないところでございしますので、ホームページ等で周知を図らせていただきたいと思いきと考えております。

その後、パブリックコメントの意見等についての検討を踏まえまして、10月ごろに第3回総合教育会議を開催し、策定していきたいと思いきと考えております。

詳細につきましては、市報・ホームページ等でお知らせをさせていただきます。また、委員の皆様には別途通知をお送りさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上でございします。

◎稲葉市長 今説明がありましたとおり、パブリックコメントをする前に、この会議の中で一応ご説明させていただきます、了承を得た上で進めさせていただきますと思いき思います。そういう意味で、次回の7月14日の教育委員会に合わせた形でやらさせていただきますと思いき思います。

市民への説明が必ずしも十分とは言えないかもわかりませんが、それなりの対応はさせていただきますと思いき思いますので、よろしくお願いいたします。

そういうことで、次回の開催は7月14日、火曜日、13時からとしたいということでございします。進め方も含めて、ご意見等がありましたらお願いいたします。

(「なし」の声あり)

◎稲葉市長 特にないようでございますので、そのように進めさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

続きまして意見交換に移りたいと思います。総合教育会議の初回ということもありますので、各委員の教育へのお考えや、教育委員としての日々活動をされている中で感じていらっしゃるがありましたらお聞かせ願いたいと思っております。

ご意見等をいただければと思いますが、先ほどもいろいろご意見をいただいているのですが、指名してしまって申し訳ないのですが、教育委員長、何かご意見等があったらお願いします。

◎鮎川教育委員長 私が教育委員として日々活動をしている中で感じたことをお話ししたいと思っております。

先ほど福元先生がおっしゃいましたが、小金井市の教育は他市に誇れるという稲葉市長のお言葉を伺うたびにとてもうれしい思いになります。自分がほめられているわけではないのですが、小金井市の教育はすばらしいと私も思っており、小金井市民としてとても幸せだと感じております。

「緑が萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」という言葉どおり、緑や水が多い自然環境があり、子どもたちがすくすくと育っていき、その子どもたちを育てているご家庭があり、先ほど山本教育長からのお話にもありましたが、学校教育にも地域のお力がたくさん生きていて、生涯学習でも地域の各団体の方や市民の皆様のお力があって、さまざまなイベント、行事なども成功に導かれていると思っております。

このようなすばらしい環境の中で、小金井市の教育はとても充実していると思っております。環境だけではなく、稲葉市長をはじめとする市長部局の皆様や、学校現場の先生方、教育委員会事務局の皆様のお力が一つに合わさって、すばらしい教育ができていると思っております。

この小金井の教育のすばらしいところを話したい思いはありますが、時間も限りがありますので、2つご紹介したいと思っております。

先ほども岡本委員から、学校運営連絡会に教育委員の私たちが見学させていただいていると話がありましたが、本年度から山本教育長のアドバイスにより、学校運営連絡会を教育委員が見学し、勉強させていただくという機会をいただいております。

私も小学校、中学校の学校運営連絡会に伺ったのですが、1つの小学校にて、学校運営連絡会委員の方から、先ほど福元先生がおっしゃったとおり、学校の先生方がとても忙しいという話がありました。学校でICTをもっと活用したらよいというアドバイスとともに、ビッグサイトで教育用の機器やソフトなどの展示会もあるので、研究も必要というご意見をいただきました。

学校の先生方が、子どもたちに向き合う時間が必要と福元先生も先ほどおっしゃっていて、それは山本教育長も常々、無駄なものは省いて、本来子どもたちへ指導する時間、子どもたちに向き合う時間が必要とおっしゃっていたことです。ICT機器のビッグサイトで展示会は

私も過去に参加したことがあります。まさにこの学校運営連絡会での話の直前に、山本教育長が行かれていたのです。実は山本教育長も行ってきたばかりですと話しまして、ICT機器の活用については教育長をはじめ事務局も同じ方向に向かっていきますと申し上げました。地域の方と、教育長が同じ方向に向かっていくと知り、うれしい瞬間でした。地域の方、PTAの方、学校、事務局は、目指すところは1つであっても同じ方向を向くことが難しいことも多々あると思うのですが、ぴたりと向いている方向が合う、これが素晴らしい小金井市だと思います。

生涯学習に関して小金井市は進んでいる取組も多く、特に市民協働という点でも多くのことが実践されていると思います。青少年科学の祭典、ウォーキングフェスタなどいろいろな行事があります。一番近くに行われたチャレンジデー、個人的には大成功であったと思っております。体育協会、小金井クラブ、スポーツ推進委員の皆さんが、ご尽力いただいて、参加率が3倍という数字の上でも素晴らしいと思いましたが、多くの方々が力を合わせてくださるといふ、小金井の教育の良さと思いました。

ささやかな話になりますが、このチャレンジデーの際に、PTAの皆様にもご協力をお願いしました。1つのご家庭のお話です。以前は毎日、お父様は駅まで車で送ってもらっていましたが、チャレンジデーの日は、駅まで歩いて行かれて、さらに、帰りも歩いて帰っていらしたそうです。歩いたらとても気持ちがよかったということで、毎週水曜日、駅まで歩くことが続いているとのことでした。

参加率アップも素晴らしいことですが、これをきっかけにして運動を継続すること、これは西田部長がチャレンジデーの本当の目的とおっしゃっていました。西田部長のお考えとPTAの1つのご家庭のお考えがぴったりと合った瞬間と思い、ささやかな例ではありますが、小金井の教育が浸透して素晴らしいと思いました。

小金井の教育が素晴らしいと言っておりますが、充実させていく点も、課題もあると思います。課題を見つけていき、見つけた課題を解決するために、私も微力ながら努力をしていきたいと思っております。そのためにもこれからも勉強を続けていきたいと思っておりますので、皆様よろしくご協力をお願いします。

最後になりましたが、小金井市は大変厳しい財政状況と伺っておりますし、不十分ながらも理解しております。しかしその厳しい状況の中でも、市長さん、議員さん方には教育へのご配慮をさせていただいており、心から感謝申し上げます。1例としてスクールカウンセラーの充実という大切な子どもたちの心のケアに対する予算をつけていただいたことをとてもありがたく思っております。今年の秋から冬にかけて、教育に関する事務に係る予算に対する意見を提出する予定でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎稲葉市長 ありがとうございます。最後は予算要望でしたね。

じゃあ職務代理の福元先生、よろしくお願い致します。

◎福元教育委員長職務代理者 私のほうは、喜ばれて期待されていることを2つ、あとちょっ

と願望を申し上げたいと思います。

喜ばれているのは、北町センターの評価が高いですね。あれは、市民の全部かどうかはわかりませんが、少なくとも私の耳に入っている中では、よいと聞いております。もっと作ればいいのにね、みたいな声まで聞こえるぐらいで、うれしい声の1つかなと思います。

もう1つは、学校で喜ばれている声というのが、今、委員長が言われましたが、スクールカウンセラーとかソーシャルワーカーの人員を増やしていただきました。それがやはり、今はいろいろ複雑化、多様化して、また相談件数も増えている中で、そういう方向で行っていただくというのを喜んでもらっている声として聞きました。もっと充実していくのではないかと期待もしているのを耳にしております。

それからもう1点は、ある会議に出席した時ですが、そこで教育の問題になったときに、小金井はどうせ財政的に苦しいから、タブレットみたいなものまでは手が出ないだろうみたいな話が出てきて、他の自治体ではこうだという話が出たのです。そのときに、ちょうど私がいたものですから、いや、小金井は今年度からタブレットに手をつけていますよとお話ししました。それから、パソコンなんていうのはどんどん進んでいて、その次の段階に行こうとしていますよという話をしましたら、感心しておられましたが、実際に予算がない中で、学校や、事務局が頑張って、3校でタブレットの研究に取り組んでいるのです。これは期限つきなので、今後その期限が来たときにどうなるかなというのをちょっと心配したり、きっと何かどこかから応援があるのではないかと期待したりしているところです。いろいろなところで、教育の話が出たときに、確かに小金井は決して遅れていないなというのを感じる人が多いです。

あともう1つは、本当に単純なことですが、特別支援教育の支援員の学校への派遣というのが始まりますので、そのときに、場所とか教育環境の整備というのを、また上手に考えていかなければいけないのかなということを思っております。

以上です。

◎稲葉市長 ありがとうございます。

次に渡邊委員、お願いします。

◎渡邊教育委員 私も山本教育長から言われました学校運営連絡会、市内に小学校が9つと中学校が5つ、14校あると。年に3回あるということなのですが、8校ぐらい回らせていただきました。

その中で特に2つ、南中に行ったときに、これは言っていないかどうかはちょっと別なのですが、給食費を納めない人がいるということでした。人数は少ないと思うのですが、そのために学校の先生が労力を使って、勉強が終わってから、夜に集金に行ったり、電話をしったりしているそうです。それでも足りない副校長先生が行ったりしているということで、そういった労力というのは、本来先生がやる仕事ではないわけです。

私も市の全体のことはわかりませんが、システムの無理だと思いますけれども、税金を徴収する人のほうがなれているのではないかと思うのです。ただ、そういった意見があったとい

うことです。ですから、本来先生がやるべきでない仕事をなるべく省くことができれば、勉強に集中できる環境が整うという、1つの例です。

それからもう1つが、緑中に行ったときに、あそこは市内でもトップクラスの中学校と聞いています。インターネット等では、外国の人もマンションを造るときに緑中エリアということで募集するらしいんです。そうすると結構人が集まるそうです。ご存じのとおり、運動会を見てもあふれんばかりの生徒さんです。別に狭いわけではなくて人が多過ぎるのです。ただ、エリアを変えたとしても一緒だと思います。

ちょっと余談ですが、今まで免疫がないところに刺激があるということも、大人になってからそういった経験というのは役に立つのではないかということです。世の中であればそういうことがたくさんありますから、ずっと何もない状態で大人になるよりもいいということです。

◎稲葉市長 ありがとうございます。岡村先生お願いします。

◎岡村教育委員 私は素人から教育委員になったので、なったときは、教育委員会というのは子どもを中心にしていればいいと思ったのですが、学校連絡会に行って、学校経営というのがすごく大切で、プランが作ってあって、それに先生方がすごく目的意識を持ってやっていたら、校長先生は子どもたちと同時に学校運営にも心を砕いていらっしやいました。教育委員は、福元先生みたいに、先生方の環境とかそういうことにも関心を持たなければいけないなとつくづく思いました。

あとチャレンジデーですが、本当に、医師会もすごくみんなノリノリになって、ちょっとでも運動をしたきっかけでどんどん運動するというのが励みになるので、楽しい企画なので、これから医師会も一緒に協力していきたいということと、あと、学校医でいろいろ連絡、学校医として医師会は動いていますが、やはりソーシャルワーカーとかスクールカウンセラーとよく連絡をとるようにということを医師会で話し合っていきたいと思っています。それから、生涯教育の内容を見ると、結構健康についてのものがありますので、それも医師会と歯科医師会、薬剤師会とか、そういう団体としては、やはり教育委員会もずっと協力していくような方向に持っていこうと、みんなで話し合っています。これからもよろしく願いいたします。

◎稲葉市長 ありがとうございます。

山本教育長、よろしくお願いします。

◎山本教育長 2つお話ししたいと思います。1つは、福元先生から最初に、教員が一生懸命頑張っているけれども非常に大変だというお話がありましたが、確かにOECDの先進国の調査の中でも、日本の教員が一番勤務時間が多くて大変だということが明らかになっています。

ただ、学校の先生が今大変なのは、これは小金井市の話ではなくて日本全国の話ですが、職務条件が厳しいというだけではなくて、子どもとか家庭からの学校に対する要求とか批判的な意見も、以前に比べれば非常に増えているということで、先生たちが心理的に悩むような状況も非常に増えているということが言われています。

そういう中で、先生たちが非常に大きな成果を上げている。日本全体も上げているし、小金



井市はさらに学校が頑張っている。そういうときに、私が小金井がすばらしいなと思うのは、もう10年ぐらい前になりますが、小金井第一中学校の校長に着任して最初の春に運動会があったときに、全部の教育委員さんが来て、市長さんも来て、そして子どもたちの姿や先生たちが指導している姿を見ておほめの言葉をいただいて励ましてくれたというのが今でも印象に残っています。

特に、稲葉市長にごまをするわけではないのですが、部活動で一中の剣道部が全国大会に行ったときに、島根県か鳥取のどちらかでしたが、会場で応援していたら、いきなり市長が会場にあらわれて、応援に来たんだと。飛行機に飛び乗ってきた、と言ったときにはびっくりしました。私は若いときからさまざまな教育行政を経験していますので、いろいろな区や市を経験しています。教員のときもあちこち回っていますから、いろいろな市を回っていますが、教育委員さんや市長さんがこんなに一つ一つの学校について温かい目で見えてくれるというのは小金井市が初めてでした。他にもあまり聞いたことがありません。

それから、それだけではなくて、校長会に市長さんが来て、校長たちに励ましのお話をさせていただいたりとか、一緒に懇親会を年に2回ばかり開いて親しく話をしたりとか、そういう姿勢が今、日本中で学校に対する目が厳しい中で、小金井市の学校のモチベーションを非常に上げているのではないかと考えています。子どもたちも喜ぶし、先生たちも頑張るし、校長先生たちも励ましを受けて一生懸命いい学校をつくろうという気持ちになっているのだと、ここは私はこの公の場で強調しておきたいのです。ぜひ、この小金井の温かい学校を支援するという、この精神的な励ましの部分がいつまでも続いてほしいなということが1つです。

2つ目は、これも一般論なのですが、学校がものすごく忙しいにもかかわらず、国の教育改革の波が次から次に学校に押し寄せてきます。新しい教育改革が、大体片仮名語を交えてくるのですが、次から次に押し寄せてくるのです。ここを私は、慎重に対応していく必要があると思います。

小金井市は今、先生たちも頑張るし、地域からの支援、家庭からの支援も受けて、いい教育活動が行われているのに、ものすごくエネルギーのかかるシステム改革をいきなり小金井市に導入したら、これは学校に混乱を呼んで、先生たちが疲弊していくことは明らかだということが、私などには見えるのですが、他の一般の方にはなかなか見えなくて、どんどんやれやれというような声が高くなっていくのは危険だと思っています。

先ほど、鮎川委員長がおっしゃっていたタブレットについては、私はこれは緊急を要するものだと思って、一生懸命全力で今、他の市に負けないように取り組んでいます。そうではなくて、まだまだ慎重に、時間をかけて導入していてもいいものというのがありますので、ここはぜひ、稲葉市長にお願いしたいのは、他の市でもやっているのだから小金井でもやれとか、そういう感じにならないで、じっくりと我々と意見を交わし合いながら、本当に今の小金井市にとっていいのはどの方策を導入していくのか、どのぐらいの時間をかけて導入していけばいいのか、どういう方法をとればいいのかということをお話し合いながら教育改革を進めていかな

ければ危険だなど思っていますので、ぜひその辺のところをご理解いただければありがたいと思っています。

◎**稲葉市長** ありがとうございます。

教育委員の先生方に一通りお話を伺いました。ありがとうございます。

ここで、私の次第は「以降フリートーク」と書かれておりますので、フリートークでいけばいいなと思っております。

私の感想ですが、先生方が忙しいというのは福元先生から冒頭言われて、確かに私たちも何かあると学校に頼もうというような考えがあるなど思っていて、ちょっと耳が痛くなって、行事があると学校にお願いしようというような話になってしまうので、考えなければいけないなと思ったりしています。

それで、先生方が忙しいのは、一つは地域の方々、保護者の方からいろいろな要望が出てきてしまったりしていて、教育に集中するよりその解決のほうが大変だというような状況があって、私はPTA連合会などに行ったときには、先生方が教育に集中できるように、教室での勉強に集中できるようにサポートしてあげていただきたいという話をさせていただきます。そうしないと、先生方は地域の話だとかで、もうそれでいっぱい教育どころじゃなくなってしまうと。教育に集中できるように、地域の方々、保護者の方々は協力してほしいという願いを一つしています。

それから校長会に行って校長先生たちをお願いするのは、例えば若くて、大学を出てまだそんなに経験のない人たちが課題を抱えてしまったりすると、本当に精神的にまいってしまうというのがあります。まだそんなになれていないわけですから、そういう経験を積んでいない人たちが大きな課題を抱えてしまうと、授業どころではなくなってしまう。それで数年でやめてしまうというようなケースも起こってくるというのがあります。

そういう意味で、学校は学校でやはり連携をとりながら、1人の人に課題が集中しないように。校長先生たちも同じで、自分のところに来なければいいというのではなくて、みんなで協働で協力し合いながら、お互いにサポートしていただかないと、1人の人が大変な仕事を持ってしまったときに、本当にみんなで助けるような、そういう形をとらないと解決しにくいというのがあって、P連等に関してはそういうお願いをし、校長先生たちに対してはやはり連帯を持つのと、中に大変な教員がいたらみんなでサポートしてあげてほしいというお願いをさせていただいております。

本当に、先生方の大変さは、あまりにも仕事が多くなり過ぎてしまっているかなという思いはさせていただいております。

◎**鮎川教育委員長** 先ほど山本教育長から、新しいものへと急いで変えずにと話がありましたが、そのようなご趣旨でよかったですか。

◎**山本教育長** 変わるべきところはどんどん変えていくけれども、時間をかけるものはすぐには飛びつかないという、そういう意味です。めりはりをつけるという。

◎鮎川教育委員長 私が教育委員になり、各学校の校長先生にご挨拶に回ったとき、山本教育長は、第一中学校の校長先生でした。そのとき、教育委員に求めるものということで、他市や他区での小中一貫や、校区をなくすことなど、耳に入ってくるかもしれないけれども、そういうことに惑わされずに、今の小金井の教育がうまくいっているところはきちんと筋を通して守るべきだというお話をいただきました。

そのお話をずっと心に入れてきまして、小金井の教育が、生涯学習も学校教育も、成功している部分は守っていく方向で行けたらいいという思いがあります。

学校の先生がお忙しいところは改善していかなくてはいけないのですが、時間をかけるべきことを性急に変えてしまうことによって事務量が増えたり、意思の疎通がうまくいかないことにも結びついていくと思います。山本教育長は先進的なお考えをお持ちなので、変えるところは変える、変えないところは変えない、その見定めは難しいと思うのですが、私もついていきたいという思いを持っております。

◎稲葉市長 教育委員会で校長先生や副校長先生が異動されたりしたときに、一応会議を持ったときに私がいつもお願いするのは、出ていく先生方には、小金井の教育のよさというのを発信してもらいたいというお願いをします。新しく来た人たちには、小金井の教育だって変えるところはたくさんあるだろうから、それを遠慮なく言ってもらいたい。慣れてしまうとこんなものだということになるから、十分指摘して、いいところは伸ばすし悪いところは改めるということをお願いしています。

教育長にいつも、いい先生をいっぱい引っ張ってきてくれとお願いしています。やはり指導者ですから、いい先生を集めるということと、そのいい先生と言われる人たちが本当に実力を発揮できるような環境を作ってあげるといことなのかなと思っています。

ということで、記念すべき1回目ということでございますが、何か言い残したことがあったらおっしゃっていただきたいなと思いますが、よろしいですか。

ではまた、14日にもあるようですから、またお聞きできればと思います。14日は大綱を示させていただくということで、その少し前に当然、ご覧になっていただくことになると思います。今日の会議を参考にさせていただきたいと思います。

事務局から何かありますか。

◎事務局 特にございません。

◎稲葉市長 特に意見は出尽くしたというか、意見は出していただいたかなと思いますので、以上で今日の会議は終わりたいと思います。閉会とさせていただきます。長時間にわたりましてありがとうございました。どうぞよろしくお願いたします。

(午後2時16分閉会)